

事務事業名	市税賦課事業	所属部	市民環境部	所属課	税務課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	固定資産税G 市民税G	
	施策名	〈08〉健全財政の維持		担当者名	宮川 純 板持 美保	
	目的対象	市の財政	意図	健全に運営する。	課長名	内田 和巳
	基本事業	〈023〉積極的な財源確保		電話番号	0854-40-1034 (内線) 2214・2215・2216	
目的対象	予算	意図	財源を確保する。	予科目	0:1:1:0:0:1 1:0:1:0:0:1	
				大事業名	賦課徴収事業	
				中事業名	賦課事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
納税義務者	適正課税
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	1. 市税の賦課 (1)市県民税の賦課 (2)固定資産税の賦課 (3)軽自動車税の賦課 2. 申告納付 (1)法人市民税 (2)市たばこ税 (3)入湯税 3. その他 (1)国有資産等所在市町村交付金
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
(1)個人市民税の調定額 1,420,778千円 納税義務者数 18,196人 (2)固定資産税の調定額 1,802,526千円 納税義務者数 16,317人 (3)軽自動車税の調定額 155,986千円 課税台数 22,103台	基幹系税システム等の改良・改修を行っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
ア 個人市民税 調定額	千円	1,418,497	1,398,588	1,420,778	1,427,521
イ 固定資産税 調定額	千円	1,899,837	1,777,731	1,802,526	1,811,998
ウ 軽自動車税種別割 調定額	千円	149,063	152,590	155,986	161,535
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
総事業費 50,732千円		財源内訳	国庫支出金	千円				
・会計年度任用職員賃金 3,096千円			県支出金	千円	31,456	30,040	50,732	41,226
・需用費 6,734千円・役務費 7,734千円			地方債	千円				
・委託料 29,848千円(給報電算パンチ委託、地方税税目追加委託事業他)			その他	千円				
・使用料及び賃借料他 3,028千円			一般財源	千円				8,696
・旅費等 292千円		事業費計	千円	31,456	30,040	50,732	49,922	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	適正な課税につながった。また、税目追加により、固定資産税及び軽自動車税の納付方法が、クレジット支払い及びスマートフォン決済が可能となり、市民へのサービス向上に繋がった。
② 事業実施するうえでの課題	賦課事務は、電算システムによる部分が多いためより迅速で正確なシステムの改修・構築が必要となる。 一方で、事務作業等の見直しを行い効率化を図る。
③ 課題解決に向けた改革改善等	今後、税制度の複雑化が予想されることから、それらに対応できる柔軟なシステム構築や改修が必要となる。